

2019年度 小樽歯科衛生士専門学校
学校自己評価

1、学校の教育目標

<教育理念>人間性豊かな歯科衛生士として、地域の保健医療に貢献できる医療人を育成する
「愛と知と技を備えた」

2、評価項目の達成及び取り組み状況、今後の改善方策を下記基準により点数評価する

適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1

(1) 建学の趣旨と教育の方針 評価値：3.0

- ・学校の建学の趣旨と教育の方針の学生、保護者等への周知について
文書、HP等を通じて周知を図っていく

(2) 学校運営 評価値：3.0

- ・教育理念に沿った学校経営方針について
教職員の更なる連携が必要で、より改善していく。
歯科医師会との情報の共有、連携をより強固にしていく
- ・就業規則、人事労務管理等の整備について
就業規則を作成し、運用している。
教職員の勤務状況等（勤務時間、出欠勤、休暇、出張）においては、
出勤簿、届書、願い等が適切に提出され、記録、保管されている。
- ・コンプライアンスについて
学生や保護者に対し、学校の発信物に記載する際の個人情報の保護
について許可を得ている。
- ・情報公開、情報システムについて
学校ホームページに公開中

(3) 教育活動 評価値：3.0

- ・教育課程の編成について
規程授業時間数を確保している。
授業担当教員、歯科衛生士教育に適した人材の確保に取り組む。
- ・教育指導方法について
教育内容充実の為、教員相互の情報、意見交換に取り組む。
グループ学習やアクティブラーニングの手法を取り入れる。
- ・教育課程の実施について
講義、校内実習、校外実習ともに年間計画通り実施された。
実習先との連絡を密にするとともに、実習場説明会を開催し、
実習先からの意見も取り入れる。
- ・成績評価について
出席状況を的確に把握、管理し、受験資格の有無確認を確実にしている。
試験終了後の成績会議を、本試験後、再試験後、再々試験後に
開催し、公正に判定を行い、進級、卒業認定を行った。
校外実習は、実習指導者による評価を実施している。
学生に問題があれば、学校に連絡をいただき、連携して指導にあたった。
- ・教員の資質向上のための取り組みについて
専任教員研修会へ参加した。
その他研修会への参加を検討する。

(4) 学修成果 評価値：2.0

- ・国家試験について
11月から試験準備講義を開始し、1月より夜間、土曜日の補講を実施した。
結果、全員合格を達成した。
- ・退学者について
入学前教育として、2度のオリエンテーション開催や課題提出を
行ったり、個人面談、3者面談を行った。
卒業試験で、4名不合格となり、3名が退学となった。
進級時の習熟度を厳正に判断していくことが必要である。

- ・就職について
卒業生全員が就職した。
求人情報の開示時期や医院見学、面接開始時期を検討する。
- ・卒後の学生のフォローアップについて
小樽市歯科医師会、本校同窓会と連携し、卒業後の動向等の情報を共有化し、リカバリー事業などへの参加につなげる。

(5) 学生支援

評価値：3.0

- ・進路、就職について
就職希望調査を行い、専任が個人面談で詳細を聞き取り、希望に合わせた指導をしている。
- ・学生相談について
担任専任との個人面談や、職員を含めた面談を行っている。
- ・経済的支援について
小樽市歯科医師会奨励金、一人暮らし支援制度、遠距離通学支援制度
社会人支援制度それぞれで支援を行っている。
- ・健康管理について
健康診断の実施、B型肝炎の抗原抗体検査、ワクチン接種を行っている。
- ・保護者との連携について
定期的に、出欠状況や近況を記した文書を発信している。
学校生活全体の様子や取組みを載せた文書の発行を検討する。
- ・卒業生への支援について
歯科医師会主催のリカバリー事業への参加を、同窓会とも連携し
より充実させていく。
求職の問い合わせがあれば、相談や再就職を支援している。

(6) 教育環境

評価値：2.5

- ・施設、設備の整備について
教室内に、スクリーンやパソコンは整備されているが、年数が経過しているものも多く、今後入れ替えを検討する。
遠隔授業への取り組みを具体的にしていく必要がある。
- ・実習施設との連携について
実習場説明会の開催など、より一層の連携が必要である。
- ・防災体制について
避難訓練を実施している。

(7) 学生募集

評価値：2.8

- ・学生募集活動について
高校訪問、進学相談会への参加、オープンキャンパスの開催など
かなりの努力はしている。2020年度の入学予定は29名。今後も増加を目指す。
- ・広報活動について
おたるワークステーションへの参加、小樽商科大学の学園祭への参加、
お化け屋敷の開催など、幅広い層に向け活動した。
次年度は感染症の拡大により難しそうではあるが、できる範囲で継続したい。
- ・学生納付金について
授業料の納付期限に遅れる者が多く、対応の検討が必要。

(8) 財務

評価値：2.8

- ・中期的な財政基盤について
学生数が伸びてきているので、3学年定員近くの人数がそろえば
財政も安定の方向に向かうはずである。
- ・予算、収支計画について
現状に即した計画を立てている。
- ・会計監査について
年2回、適正に行われている。
- ・財務情報の公開について
2019年度から、ホームページで公開している。